

(参考様式2) 社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成 29 年 3 月 21 日

計画の名称		泉大津市下水道社会資本整備計画										重点配分対象の該当					
計画の期間		平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）			交付対象		泉大津市										
計画の目標																	
未普及地区の解消に向けて整備を推進し、健康で衛生的な生活環境の確保と公共水域の水質保全に努める。 臨海部(夕風町)における港湾計画に伴い、汚水の排除、浸水防除に努める。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
・計画期間内に未普及地区11.64haの整備を完了させ、整備人口470人増加させる。 ・臨海部(夕風町)において、計画期間内に汚水排除区域を26.71haから30.86haに増加させる。 ・臨海部(夕風町)において、計画期間内に雨水排除区域を26.69haから45.09haに増加させる。																	
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考					
		当初現況値		中間目標値		最終目標値											
		(H27当初)		(H29末)		(H31末)											
下水道未普及地区の解消 下水道面積整備率＝実施整備面積（ha）／計画期間内整備予定面積（11.64ha）		—		87%		100%											
臨海部の汚水排除 下水道面積整備率＝実施整備面積（ha）／計画期間内整備予定面積（4.15ha）		—		100%		100%											
臨海部の浸水排除 下水道面積整備率＝実施整備面積（ha）／計画期間内整備予定面積（18.40ha）		—		100%		100%											
全体事業費	合計 (A＋B＋C＋D)	1,173百万円	A	1,173百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合 C／(A＋B＋C＋D)	—					
交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
A1-1	下水道	一般	泉大津市	直接	—	湾岸北部処理区 污水管渠整備事業	污水管 φ200mm L=0.7km	泉大津市						61	—	—	
A1-2	下水道	一般	泉大津市	直接	—	湾岸北部処理区 污水管渠整備事業 (臨海部)	污水管 φ200mm L=0.3km	泉大津市						30	—	—	
A1-3	下水道	一般	泉大津市	直接	—	湾岸北部処理区 雨水管渠整備事業 (臨海部)	雨水管 □1800～φ700mm L=1.0km	泉大津市						1,010	—	—	
A1-4	下水道	一般	泉大津市	直接	—	汐見ポンプ場 雨水1号ポンプ更新事業	ポンプ1基	泉大津市						72	—	策定済	長寿命化
合計														1,173			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

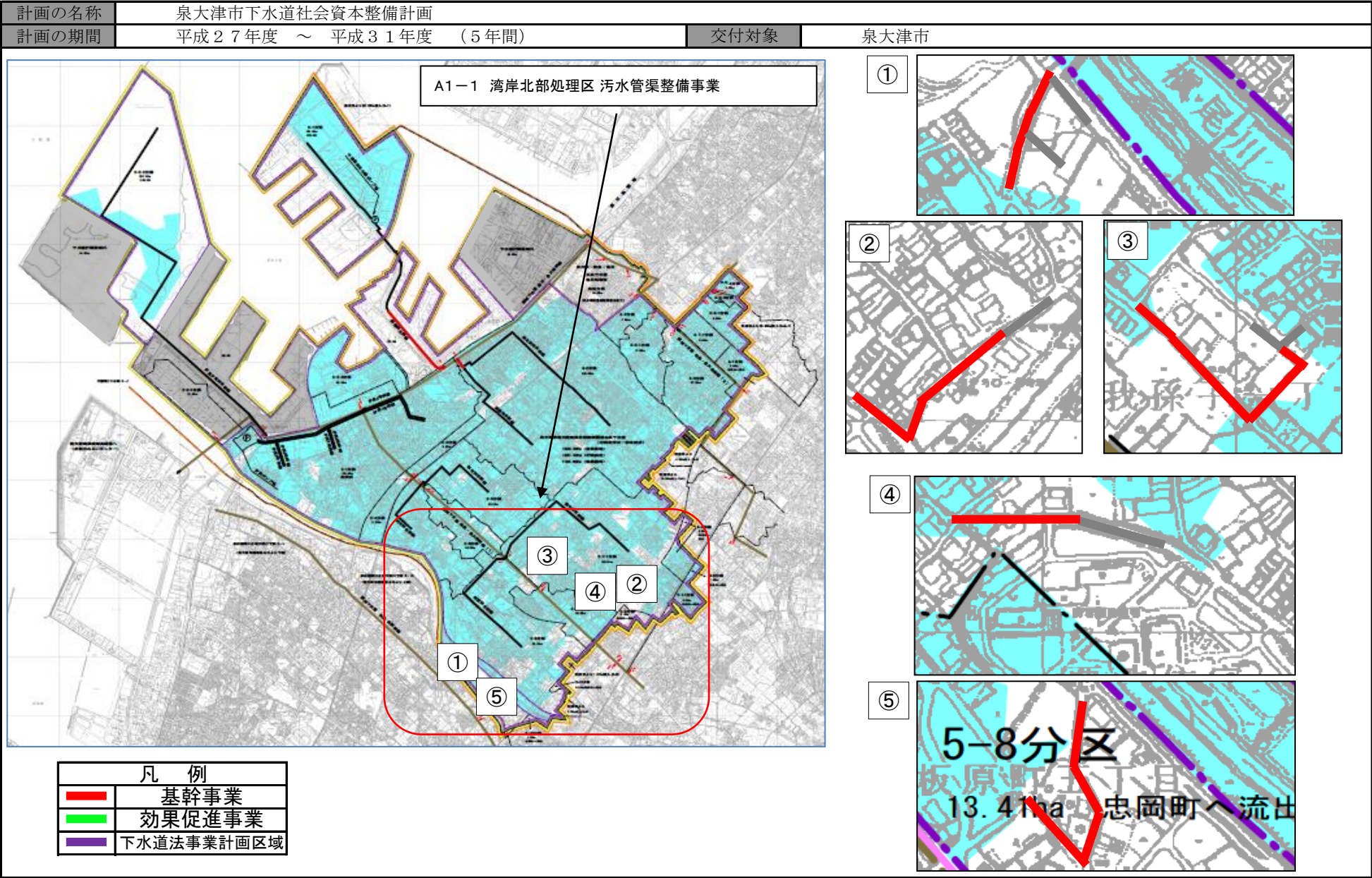
交付金の執行状況

(単位：百万円)

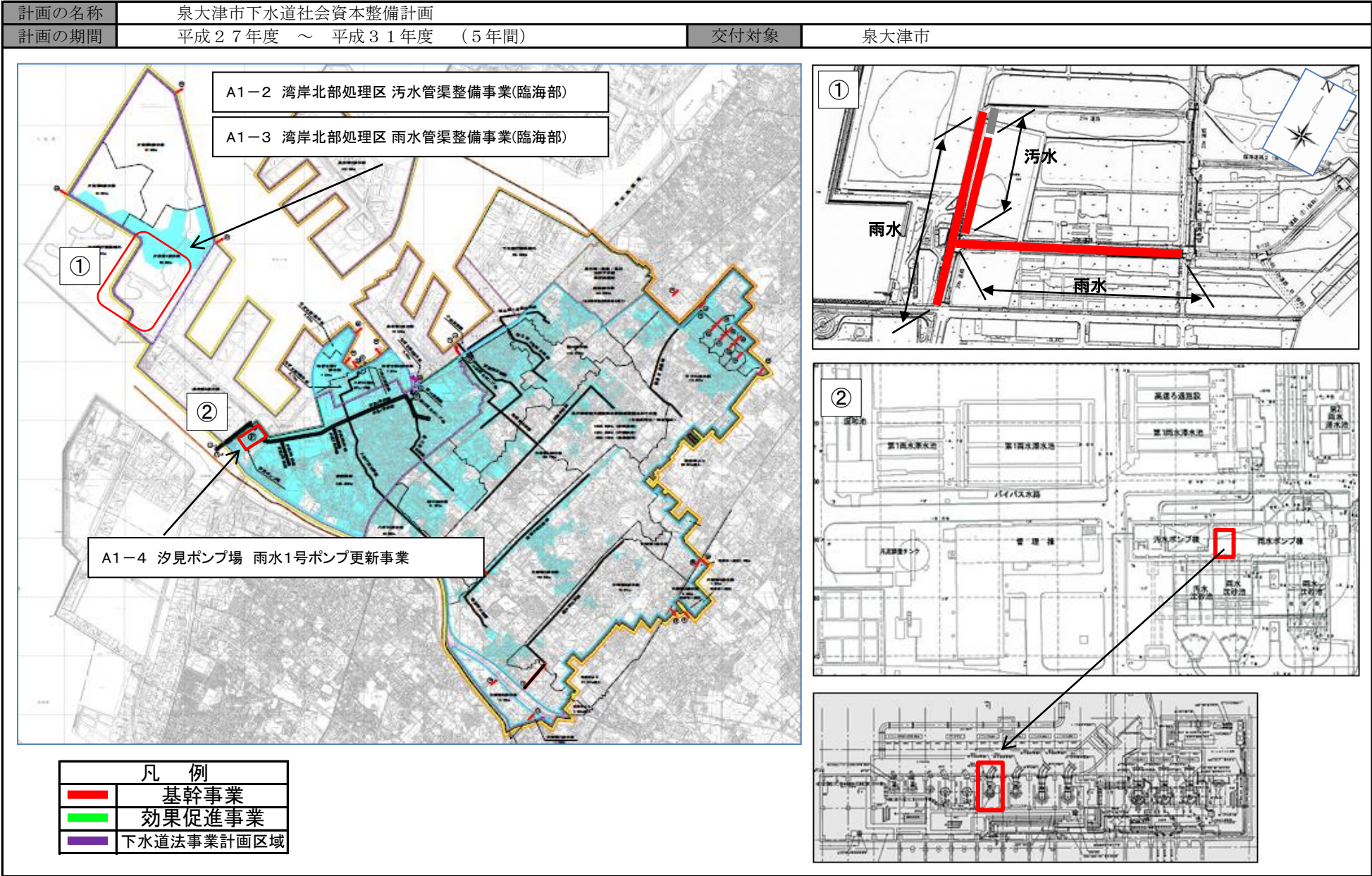
	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	133	196.95			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	133	196.95			
前年度からの繰越額 (d)	119.855	0			
支払済額 (e)	252.855	109.95			
翌年度繰越額 (f)	0	87			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h) / (c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えて いる場合その理由	-	-			

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 泉大津市下水道社会資本整備計画

事業主体名：泉大津市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指数・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

（参考様式２）社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成 29 年 3 月 21 日

計画の名称		泉大津市下水道社会資本整備計画（防災・安全）										重点配分対象の該当						
計画の期間		平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）				交付対象		泉大津市										
計画の目標																		
下水道事業において、施設の継続的な運転、リスク低減など安定的かつ経済的な改築計画に基づき更新工事等を行っていく。																		
計画の成果目標（定量的指標）																		
・下水道事業において、汐見ポンプ場の更新計画項目を14件を完了させる。																		
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考						
									当初現況値	中間目標値	最終目標値							
									(H27当初)	(H29末)	(H31末)							
		汐見ポンプ場の第1期長寿命化計画対策事業 長寿命化事業対策実施率＝実施項目（項目）／計画期間内実施予定項目（11項目）							0%	55%	100%							
		汐見ポンプ場の第2期長寿命化計画対策事業 長寿命化事業対策実施率＝実施項目（項目）／計画期間内実施予定項目（3項目）							0%	0%	100%							
全体事業費		合計 (A＋B＋C＋D)		1,758百万円	A	1,758百万円	B	－	C	－	D	－	効果促進事業費の割合 C／(A＋B＋C＋D)	－				
交付対象事業																		
A 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31					
A1-1	下水道	一般	泉大津市	直接	－	汐見ポンプ場 長寿命化計画対策事業（第1期）	対策	泉大津市						1,035	－	策定済	長寿命化	
A1-2	下水道	一般	泉大津市	直接	－	汐見ポンプ場 長寿命化計画策定（第2期）	計画策定、設計及び対策	泉大津市						490	－	未策定	長寿命化	
A1-3	下水道	一般	泉大津市	直接	－	汐見ポンプ場 耐震及び耐津波対策事業	診断、設計及び対策	泉大津市						40	－	－		
A1-4	下水道	一般	泉大津市	直接	－	小松雨水ポンプ場 ストックマネジメント計画策定	計画策定	泉大津市						150	－	未策定	ストック マネジメント	
A1-5	下水道	一般	泉大津市	直接	－	小松雨水ポンプ場 耐震及び耐津波対策事業	診断	泉大津市						43	－	－		
														合計	1,758			
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31					
														合計				
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31					
														合計				
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H27	H28	H29	H30	H31					
														合計				
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	

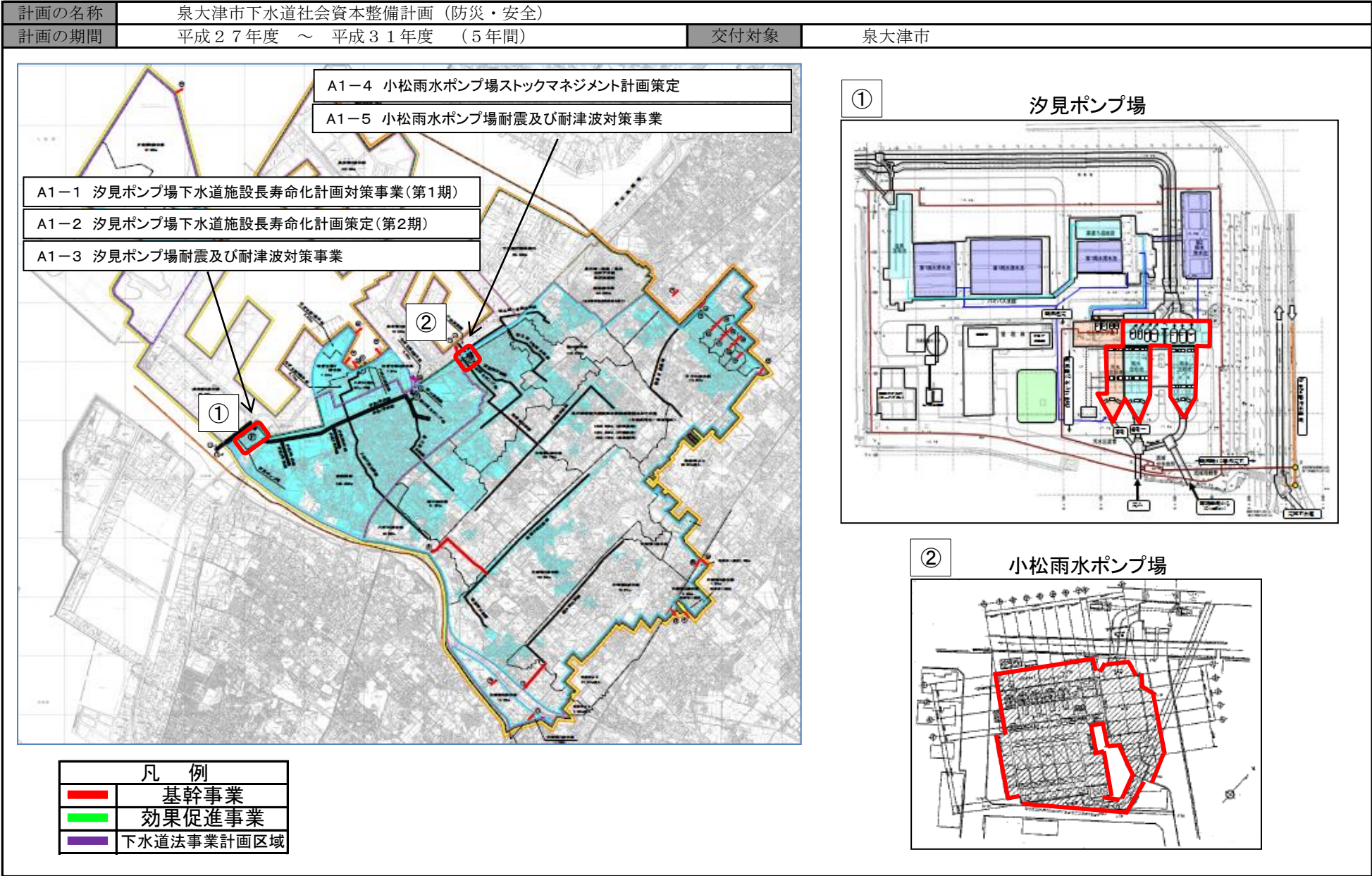
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	110	97			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	110	97			
前年度からの繰越額 (d)	0	14.5			
支払済額 (e)	95.5	111.5			
翌年度繰越額 (f)	14.5	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えて いる場合その理由	-	-			

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 泉大津市下水道社会資本整備計画(防災・安全)

事業主体名： 泉大津市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指数・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○